

## 治療計画書

療法名

DBd(皮下注)

療法

1サイクル 3 週

疾患名 再発又は難治性の多発性骨髄腫(4-8サイクル目)

注射 内服 放射線	Rp	商品名	用量(/回) 用量(/日)	投与ルート 用法	投与時間																																			
						照射部位 照射量																																		
注射	1	生理食塩液	250 ml	点滴	キープ																																			
		注射	2	生理食塩液	50 ml	点滴(側管)	キープ																																	
注射	3	ベルケイド	1.3 mg/m <sup>2</sup>	皮下注																																				
		生理食塩液	2.5mg/mLで溶解																																					
注射	4	ダラザレックス	16 mg/kg	点滴(側管)	フローシートに従う																																			
		生理食塩液	500 ml	全量500mLに調製																																				
注射	5	生理食塩液	50 ml	点滴(側管)	ルートフラッシュ																																			
		注射	6																																					
注射	7																																							
		注射	8																																					
注射	9																																							
		注射	10																																					
内服	1	レナデックス	20 mg	ダラザレックス投与1-3時間前		●																																		
内服	2	レナデックス	20 mg	1日1回朝食後		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
内服	3	クロルフェニラミン	6 mg	ダラザレックス投与1-3時間前		●																																		
内服	4	カロナール	1000 mg	ダラザレックス投与1-3時間前		●																																		
内服	5																																							
内服	6																																							
内服	7																																							
放射線			Gy																																					

## 特記事項

・インフュージョンリアクションGrade1~3の出現時はダラザレックスの投与を中断し、回復した場合には出現時の半分以下の速度で投与を再開できる。Grade 3のインフュージョンリアクションが3回出現した場合およびGrade 4のインフュージョンリアクションが出現した場合は、ダラザレックスの投与を中止する。

・75歳を超える、過小体重(BMI: 18.5kg/m<sup>2</sup>未満)、コントロール不良の糖尿病又はステロイド療法に対する忍容性がない、もしくは有害事象を発現した患者には、レナデックスを20mg/週に減量して投与可能。

## 減量規定

薬品名	ベルケイド®			
標準投与量	1.3 mg/m <sup>2</sup>			
1段階減量	1.0 mg/m <sup>2</sup>			
2段階減量	0.7 mg/m <sup>2</sup>			
3段階減量	投与中止			